

「宮崎ひなた生活圏づくり」通信 Vol.2

R3.3

県では、人口減少下においても、将来に渡って住み慣れた地域に安心して住み続けられるよう、「宮崎ひなた生活圏づくり」の取組として、地域運営組織の形成等を支援しています。この通信では、地域で暮らす人々が中心となって地域課題の解決に取り組んでいる事例など、これからの地域活動のヒントとなるようなものを発信していきます。



有償ボランティアによる高齢者等の生活支援

～NPO法人北浦お守り隊(延岡市北浦町)～

地 域 名：延岡市北浦町
活動地域：延岡市北浦町(移動支援は延岡市内)
団 体 名：NPO法人 北浦お守り隊
地域概況：人口3,305人、世帯数1,611世帯、高齢化率43%
(令和3年2月1日現在)
問い合わせ先：
NPO法人北浦お守り隊事務局 080-2773-1350
北浦総合支所市民サービス課 0982-45-4228



【取組の経緯等】

- 地域ケア推進会議(以下「ケア会議」)の中で、高齢化が進む中でも住み慣れた地域に安心して住み続けるため、地域住民で助け合う仕組み作りが必要だという話が盛り上がり、約1年の話し合いを重ね、ケア会議のメンバーであった北浦診療所の日高所長が理事長に、その他のメンバーが理事となり、「北浦を守りたい」との想いからNPO法人北浦お守り隊を設立した。
- 活動費を捻出するため、理事でチームを組み、分担して、建設業、商店、飲食店、水産業など、ほぼ町内全部の事業者を訪問して活動趣旨を説明。多くの協力を得ることができた。
- 支援対象者は、地域包括支援センターの協力を得て把握した。
- ボランティア会員は、地域包括支援センター職員や理事が、知り合いや地域のサロンで活動されている方などに声をかけるなどして確保した。主婦、自営業、介護施設職員など、現在27名が在籍している。
- 利用者からの依頼受付とボランティア会員とのマッチングを行うNPO法人のコーディネーターは、地域包括支援センターの協力を得て確保した。

【活動の概要】

- ゴミ出し、掃除などの家事支援や、庭の草取り、墓掃除、話し相手などの支援を実施。
- 利用料は30分500円。うち、400円がボランティア会員へ支払われている。
- 事務局へ支援依頼があると、初回はコーディネーターが自宅訪問などを行い、支援内容の詳細な確認を実施。その後ボランティア会員へ連絡し、日程調整等を行っている。
- 令和2年10月からは、買い物や病院受診などの移動支援も開始。互助による輸送としているため、移動にかかる部分は無償としている。
- 移動支援事業のみ、延岡市からの補助金を活用。車両リース代、燃料代等に充てている。

【工夫点や特徴】

- 関係機関が集まる会議の場で、同じ課題を共有し、会議を重ねることで盛り上がった気運を継続し、実際の活動へとつなげていった。
- 高齢者の支援は喫緊の課題であった。関係機関と協議を重ねる中で、民間ならではのフットワークの軽さを活かし『とりあえずやってみよう』と、活動を開始した。民間の柔軟性と行政の専門性がうまくマッチした結果が活動につながっている。
- 活動開始後も、月2回程度の連絡会議を行い、継続して情報の共有を行っている。

【これから活動始める地域へひとこと】

- 「とりあえずやってみる」のも大事。動きながら考えていくような、柔軟性をもった取組ができるのは、行政にはない強みになると思います。

【今後の展望・課題】

- 依頼者の多様なニーズに応えられるよう、ボランティア会員を増やしていきたい。



今後も、不定期に県内の活動事例を紹介していきます。地域で暮らす人々が中心となった取組について情報がありましたら、ぜひお寄せください。

宮崎県総合政策部中山間・地域政策課
中山間・特定地域振興担当
電話:0985-26-7036
メール:chusankan-chiiki@pref.miyazaki.lg.jp